

平成26年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

福岡県立福岡工業高等学校長 印
(定時制)

学校運営計画(4月)				評価(3月)	
学校運営方針	鍛錬によって人格を陶冶し、自律心と思いやりの心をもった工業人の育成を図る。				
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
全職員で学校づくりに取り組み、進路実績、部活動、資格取得等、その成果は顕著であった。本年度はそれらの成果を一過性のもthingとすること無く、さらに高い目標設定を行い、その具現化と定着に向けて、職員一丸となり、新たな学校文化を創造していく。	校訓(質実剛健 自律創造)の精神に基づいた人づくり	工業教育を通して、思いやりの心や規範意識、倫理観を育み、我が国や地域社会に貢献する、志をもった生徒を育成する。			
		勉学や部活動に積極的に取り組むなど、文武両道に励み、心身共に逞しい生徒を育成する。			
	学力向上と第一希望進路の実現	特別活動(ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事)を充実させ、集団や社会の一員としての自覚をもった、正義感溢れる心豊かな生徒を育成する。			
		学校の教育活動全体を通して、人権尊重の精神を育成し、いじめ撲滅に努める。			
		学年、教科の連携を図りながら、学習習慣や学習方法を身に付けさせ、基礎学力の向上を目指す。			
		キャリア教育を充実させ、早い段階から進路意識の高揚を図り、生徒自ら進路を選択し、その実現に向けて、自ら学ぶ姿勢を身に付けさせる。			
		授業研究を通して、授業の工夫・改善に努め、分かる授業を創造する。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題
教科指導	基礎的・基本的な知識・技能を定着させる。	教職員研修会等により生徒の学習状況を共有し指導法等の改善を協議する。 学校行事を精査し、授業での指導時間を見直す。			
	教科指導の充実を図る。	観点別の評価規準を取り入れた年間指導計画を改善するとともに指導と評価の一体化を促進する。			
	中途退学の防止と学習習慣の定着を図る。	欠課時数連絡表等を活用し、教科担任と学級担任の連携した指導を行う。 原級留置者の指導を保護者同席の下、実施する。			
生徒指導	基本的生活習慣を確立させる。	毎日、登校指導や校内巡回を実施して、問題行動を未然に防ぐ。 生徒会役員を中心に特別活動を活性化させ生徒の主体的な活動を促進する。			
	交通規則の遵守と交通マナーを向上させる。	登下校時の車両運転の規則やマナー、駐輪・駐車指導を行う。 全生徒対象交通安全教室と車両通学者指導を年間に二回ずつ実施する。			
	いじめのない学校づくりを推進する。	毎月、学校生活アンケートまたはいじめ防止アンケートの実施といじめ対策委員会を開催する。			
進路指導	進路意識を高揚させる。	4年間の段階的なキャリア教育を企画・推進する。 外部講師を招聘し見識を広めるとともに生徒の職業観・勤労観を啓発する。 企業見学、インターンシップの実施や進路情報(資料)を提供する。			
	生徒の希望進路実現を図る。	LHRや放課後の時間を活用して生徒の進路相談を実施する。 就職・進学試験前には、職場訪問、オープンキャンパスへの参加を促す。 資格取得の奨励及び指導や毎月、漢字・基礎学力テストを実施する。			
	健全な心と身体を育成する。	健康相談や健康診断を早期に実施する。 外部講師を招聘し、薬物乱用防止、性教育等に関する講演会を実施する。			
保健・給食指導	食の知識や望ましい食習慣を身に付けさせる。	毎月、献立表とともに食材等に関する資料を作成し配付する。 給食前の手洗いの励行や食事マナーについて全校集会等で呼びかける。			
	人権課題の解決を目指す基礎的な知識及び態度、技能、行動力を育成する。	生徒の自尊感情を高め、人間関係調整力を育み、いじめ防止や人権尊重の精神の育成に努める。 「かがやき」「あおぞら」等を使った人権学習を実施するとともに、人権が尊重される授業づくりを目指す。			
職員研修	教職員の資質・能力の向上を図る。	生徒の学校生活や学習状況の情報共有と指導法を協議する教職員研修会を学期に2回開催する。			
		教職員に必要なテーマを設定し外部講師等を招聘した校内研修会を学期に1回開催する。			
保護者との連携等	教育活動の活性化を図る。	PTA 総会や保護者への資料配付により教育活動等の情報を分かりやすく提供する。			
		PTA 活動費の収支内容を検討し、適正化に努める。			